



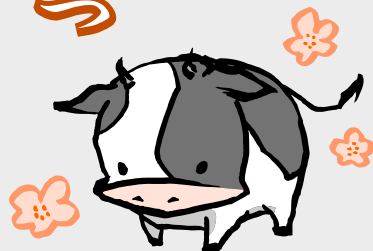
愛知県議会議員
鈴木 正

新年あけましておめでとございます。幸田町民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、内外にいろいろな情勢の変化、とりわけ経済問題では過去にない景気の減速、そして自然災害など、将来を憂つような出来事が起こりました。特に幸田町においては異常気象による集中豪雨により広田川が決壊、自然災害の恐ろしさを改めて感ずるものでした。また、世界経済の同時不況に

新年あけましておめでとございます。幸田町民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、内外にいろいろな情勢の変化、とりわけ経済問題では過去にない景気の減速、そして自然災害など、将来を憂つような出来事が起こりました。特に幸田町においては異常気象による集中豪雨により広田川が決壊、自然災害の恐ろしさを改めて感ずるものでした。また、世界経済の同時不況に

新しい年を迎え、改めて町民の福祉と生活環境に目を向け、また災害防止のための治水対策や産業経済対策について喫緊の課題として県議会を通して努力する所存であります。厳しい財政事情の中でありますが、幸田町がこのすばらしい自然環境の中で、「心のかような活力あるまち」としてますます発展することと町民の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

2009 あいの さつ



幸田町長
近藤 徳光

新年あけましておめでとございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日ごろは町政推進に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年8月末豪雨は町内各地に未曾有の被害をもたらしました。被災された方々には改めて謹んでお見舞い申し上げます。

さて百年に一度と言われる世界的な経済不況は、我国の企業、雇用等にも深刻な影響が出ており、地方自治体、市町村の今後の財政運営に大変心配懸念をしております。特に主要財源である税収の歳入減も予想され、一層の行政改革を進めながら無駄を省き、より効率的な行財政運営を図ってまいります。行政の最大の責務は町民の皆様生命・財産を守ることであり、既に災害復旧工事は鋭意進めておりますが、決壊した広田川等の改修については、下流まで抜本

的な整備を含め国・県へ強力に働きかけ、災害に強い安全なまちづくりに努めてまいります。そして、生活に直結した子育て支援、高齢者福祉、障害者支援等また環境対策は優先的に取組み、拡充を図る必要があると考えています。一方、将来を展望したまちづくりも時期を逸することなく計画的に進めなければなりません。明治以来の悲願でありました新駅（仮称相見駅）設置については、昨年10月に東海旅客鉄道株と基本協定を締結し、平成24年春の開業予定であり、全力を挙げて取り進む所存であります。目下工事が進む新駅周辺の相見土地区画整理事業と幸田駅前再開発等大型プロジェクトは、本町がバランスよく発展する上で欠かすことができない重要な事業であり、引き続きその実現に努力を傾けてまいります。また国道23号岡崎バイパスの須美・桐山地区内に設置する道の駅「筆

柿の里・幸田」や急増する児童に対応するための幸田小学校増築事業も、今春3月までにはそれぞれ完成の予定であります。給食センターも9月には開設の運びとなっており、食の安全が叫ばれる中、これを機にさらに地産地消、食育に留意し、子どもたちの健やかな成長を願って給食の提供に努めます。行政課題は山積しております。前述したとおり財政環境は極めて厳しい中でありますが、町民の皆様のご意見を伺いながら共に力を合せ、その一つ一つを着実に進めていくことが、第5次総合計画のめざす「人と自然を大切にする緑住文化都市」、「夢のある心のかような活力あるまち幸田」の実現につながるかと確信しております。本年が災害のない明るい年でありますように、そして皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。